

# 株式会社辻洋装店 レベルの高い技術職の育成

## 会社概要

辻洋装店は、東京都で衣料用繊維製品の縫製並びに加工を行っており、主に、既製の高級婦人服を扱っています。

## 問題意識

入社1年～2年目の社員に対しては、ジョブカードを活用し、求める業務レベルをしっかりと体得してもらっていますが、それ以上の社員に対して具体的な評価基準は設けておらず、共通の指標がないことが課題となっていました。

## 具体的な取り組み 活用ツール

そこで、「独自の技術、人材育成」が重要となるアパレル製造の業界において、特にレベルの高い社員に対し、実技以外での評価方法が有効なのか検証を行うこととしました。

対象の職務は「縫製」とし、縫製の班長を対象に、レベル3の職業能力評価シートを使用しました。

職業能力評価シートは、当社に該当する項目の抽出や新規作成によって、自社

に合うように修正を行いました。修正にあたっては、社員の自己能力チェック、求められる要件の再認識ができるよう配慮しました。

### 修正方法

- 班長の業務ではない項目、異なる部署で行うなど自社体制に合わない項目を除きました。
- 「4.安全・衛生管理」について、ちょうど、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)に取り組んでいるところであり、自社に合った項目を新規に作成しました。

チェックを行うことで、見て、読んで、理解を深めることができると感じました。

## 今後の目標

技術以外のことも確認できるため、半期や年に1回など、定期的に職業能力評価シートをチェックし、個人面談を行い、育成を踏まえた班替えに活用するなど、社内での活用方法について示唆を得ることができました。

これからサブとなる2年目程度の社員に対して、今後の意識づけを行うために活用することも有効だと感じています。

## 取り組み結果

本人と評価者で修正した職業能力評価シートをチェックした結果、出来ていること、出来ていないことの確認ができ、結果をもとに改善できる点、今後、どのようなことを目標にしていったらよいか考える際に役立てることができる点などが、効果として挙げられました。

当社で教育用のビデオを作成していますが、映像を見た後に、文字でこうしたチ

平成 25 年 3 月

(別添1)「職業能力評価シート」の位置付けと導入方法

